

横浜市立大学附属2病院の研修医の研修修了後の進路 第2報

青木昭子¹⁾, 後藤英司¹⁾, 古川政樹²⁾, 長谷川修²⁾

¹⁾ 横浜市立大学附属病院 臨床研修センター,

²⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床研修センター

要旨:平成18~21年3月に横浜市立大学附属2病院の臨床研修を修了した研修医308名の進路をまとめた。研修修了後3年目の診療科の調査では、内科が最も多く30.2%, 次いで麻酔科9.6%, 精神科7.8%であった。横浜市立大学医学部のいずれかの講座に「入局した」のは270人(87.5%)であった。研修開始時に将来進みたいと考えていた診療科と3年目の進路が一致した『貫徹型』研修医は34%, 最初に考えていた診療科と異なる診療科を選んだ『変更型』研修医は21%, 複数の選択肢の中から選んだ『選択型』研修医は45%であった。3分の2の研修医は2年間の研修で、実際に経験しながら将来の専門診療科を選択していた。

Key words: 臨床研修 (postgraduate medical education), 大学病院 (university hospital), 専門医 (medical specialist)